

# 第26回「地方発！ベンチャー企業ミーティング」 登壇企業紹介

**株式会社 バイオマスレジン南魚沼** 専務執行役員 中谷内 美昭 (新潟県南魚沼市 2017年11月設立)

<p><b>&lt;プレゼンターマ&gt;</b> バイオマス資源を利用したプラスチック樹脂原料の製造・販売、成形品の企画・製造</p>	<p><b>期待事項</b></p>
<p>プラスチックの代替となる新素材で、主に非食用のお米を利用したバイオマスプラスチックの製造・販売を生業としており、お米の他に木、竹、貝殻、お茶葉といった様々な植物性成分とプラスチック樹脂を混成させる技術を持つ。クライアント仕様に合った商品開発・加工が可能で、少量多品種の受注に対応している。主力製品は米を70%配合したバイオマスプラスチック「ライスレジン」(バイオスマーク認定済)で、既にバンダイグループや複数の大手玩具メーカーから知育玩具の原材料として採用されている。プラスチック資源循環戦略(環境省)が推進されていることもあり、設備強化を図る。</p>	
<p><b>PR事項</b></p> <p>People社の「お米のおもちゃシリーズ」が近年インバウンド効果から急激に需要拡大となり「お米のプラスチック樹脂」の需要が高まった。従来、樹脂製造については委託生産としてきたが、クライアントが要求する品質に対し供給が不安。クレーム改善が進まず、安定供給、品質保証・管理を向上させることを目的に自社生産工場の設立を計画。平成29年11月コメどころ新潟県に(株)バイオマスレジン南魚沼を設立し平成30年3月より生産開始。</p> <p>バイオマスレジンの特徴</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 市場導入経験による製造技術の確立。自社整備で品質が向上、汎用性プラスチック樹脂の生産が可能。</li> <li>2) 少量多品種対応の生産設備にてバイオマスレジン製造。使ってもらえるバイオマスレジンの生産体制を完備し、最終製品に見合ったバイオマスレジンの製造によりクライアントと強固な関係。</li> <li>3) 物性比較・バイオマスレジン原料ベース材となるバイオマスレジン(石油由来プラスチック)と同等。</li> </ol>	<p>資金調達</p>

**株式会社ファンタスティック** 代表取締役 大内 英之 (千葉県千葉市 2017年4月設立)

<p><b>&lt;プレゼンターマ&gt;</b> センサー技術を用いた介護施設向け見守り支援システム“ファンタスティックeyes”の紹介</p>	<p><b>期待事項</b></p>
<p>介護施設で安全に利用者が生活する為に介護職員の見守りが不可欠である。しかし見守る内容は多岐に渡り、それを支援するセンサーは場面毎に異なり、現場職員は複数の機器を管理しなければならない。弊社システムは、施設内にワイヤレスネットワークシステム(Bluetooth/Zigbee)を構築し利用者にセンサータグを着着することで多岐に渡る見守り業務を1台にて行う事を可能とした。この商品は介護職員と利用者双方に効果が期待されるシステムである。</p>	
<p><b>PR事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■商品開発 ⇒ 全て自社内にて開発(デバイス、センサー、アクセスポイント、プログラム)</li> <li>■受賞歴 ⇒ ・2017年第3回ちば起業家ビジネスコンペティション千葉県知事賞「優秀賞」・2018年第17回ベンチャーカップCHIBA「A1賞」</li> <li>■事業化支援 ⇒ 京葉銀行、浅井ヘルスケアグループ(千葉県東金市、病院461床他介護施設運営)</li> </ul>	<p>業務提携</p>

**株式会社パリティ・イノベーションズ** 代表取締役社長 前川 聡 (京都府相楽郡 2010年12月設立)

<p><b>&lt;プレゼンターマ&gt;</b> 簡単に空中映像表示を可能にする光学素子パリティミラーの量産および事業展開</p>	<p><b>期待事項</b></p>
<p>パリティミラー®は、マイクロミラーアレイ構造を持ち、面対称位置に実像が結像できる新しい結像光学素子となります。平面鏡と同じ鏡映像を、空中に結像でき、どんなものでも背面に配置したものが空中映像化できます。さらにセンサーと組み合わせれば、スイッチやタッチパネルを空中映像で実現でき、非接触ユーザーインターフェースが可能となります。量産試作ができないというこれまでの課題が解決し、現在量産に向けた準備を進めています。</p>	
<p><b>PR事項</b></p> <p>(国)情報通信研究機構(NICT)発ベンチャーであり、独占的通常実施権契約を締結。基礎技術は代表者がNICT職員として開発したものであり、現在は退職して実用化を目指している。新価値創造展2018において新価値創造賞特別賞、池田泉州銀行第18回ニュービジネス助成金地域創生賞、南都銀行第3回&lt;ナント&gt;サクセスロード特別賞、東大阪商工会議所白石賞等を受賞。三菱UFJ技術育成財団の研究開発助成金、戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)等に採択。</p>	<p>資金調達 業務提携 販路拡大</p>

**株式会社tiwaki** 代表取締役社長 阮 翔 (滋賀県草津市 2016年4月設立)

<p><b>&lt;プレゼンターマ&gt;</b> びわ湖で生まれた世界最先端のAI技術 - 株式会社tiwakiの研究開発</p>	<p><b>期待事項</b></p>
<p>tiwakiはAI分野で、日本がまだ少ないtech drivenの会社である。創業以来、様々な大手企業と、自動運転、監視カメラ、ドローンなど新興市場で新しいAI技術を創出した。一方、弊社の独自AI技術は、PCあるいはモバイル機器で簡単に使用可能で、様々なアプリケーションに柔軟的に適用できると考えている。具体的には、我々は既存の深層学習技術より遥かに高速、小型、高精度の独自深層学習Furikasanと、世界初の学習フリーの物体検出・認識技術Onmyojiを開発した。また、斬新なユーザーインターフェース技術であるYoichi技術も創出した。我々はそのような独自技術を持って、色んな分野の企業との協業によって、現場課題を解決できるAI応用アプリケーションをたくさん実現したいと考えている。</p>	
<p><b>PR事項</b></p> <p>弊社は設立以来、赤字がなく継続的に経営黒字を実現した。去年Tech Sirius 2018 2位、滋賀Tech Plan Grand Prix 東レ賞を受賞した。それまでは、様々な分野の大手企業と協業し、自動運転、ドローン、監視カメラなど分野で新しいAI技術を創出し続けてきた。2018年から、自社技術を活用した独自商品の創出を注力しはじめて、3、4年をかけて、ユニコーンに成長することを目指している。弊社の高い開発力と独自の技術を、大手企業に紹介し、今後の協業に繋がることを期待する。</p>	<p>業務提携</p>

**株式会社CrowLab** 代表取締役 塚原直樹 (栃木県宇都宮市 2017年12月設立)

<p><b>&lt;プレゼンターマ&gt;</b> 科学的根拠を基に、カラスの気持ちで被害を激減させ、カラスと共存できる社会を創る</p>	<p><b>期待事項</b></p>
<p>カラスによるゴミ荒らしを防ぐCrowControllerの長期的な効果。さらには、行政との協力による拡散モデルの紹介。また、カラスによる糞害など、広範囲のカラスの被害を防ぐ、追い払い音声貸出サービスとそのビジネスモデルの紹介。カラスの危機的状況を再現したロボットとそのビジネスモデルの紹介。</p>	
<p><b>PR事項</b></p> <p>【大学の16年以上に渡るカラス研究の成果に基づき、宇都宮大学発ベンチャーとして、学術的根拠に裏打ちされたカラス被害対策の提案を行う。カラスの生理・生態を無視しているが故に一時的な効果しか見られない製品が多い中、科学的検証のもと、長期的な効果が期待できる製品を販売している。現在販売を行っているCrowControllerに関する実証試験を実施中であるが、7か月経過した今も効果があることが示されている。本製品については、宇都宮市を通じて、市内の約800の自治会を対象にモニター募集をおこなっている。現在開発中のカラスの危機的状況を再現したロボットについてのビジネスモデルは、「第3回とちぎんビジネスプランコンテスト」で最優秀賞を受賞。メディアにも注目され、NHK「おはよう日本」やテレビ東京「ワールドビジネスサテライト」など50件以上で取り上げられている。</p>	<p>資金調達 業務提携 販路拡大</p>